

内村鑑三著「後世への最大遺物」を読む

- 人生の真の生き方とは何かを考える -

- ・私は先例を破ってここであなたがたとゆっくり腰を掛けてお話ししてもかまわないと思います。
- ・私はここで諸君と膝を打ち合わせて私の所感そのままを演説し、また諸君の質問にも応じたいと思います。
- ・私は何かこの地球に Monumento(モニュメント)を置いて逝(ゆ)きたい。私がこの地球を愛した証拠を置いて逝きたい、私が同胞を愛した記念碑を置いて逝きたい。それゆえにお互いここに生まれてきた以上は、われわれが喜ばしい国に往くかも知れませんが、しかしわれわれがこの世の中にあるあいだは、少しなりともこの世を善くして往きたいです。この世の中にわれわれの Monumento を遺して逝きたいです。

P.17 ~ 18

内村鑑三著「後世への最大遺物」岩波文庫，岩波書店 1946年10月10日刊

- 2006年9月26日記 -